

今養版キャリアプランニングマトリックス（改訂版）

平成 28 年 1 月 21 日

指導観点	指導の柱	1 学 年 段 階 (学びを通して気付く・知る)	2 学 年 段 階 (将来を意識し、自ら学ぶ・行動する)	3 学 年 段 階 (将来を見据え、自ら学ぶ・行動する)
心と体	心身の健康	○健康でたくましい心と体の必要性に気付き、身につけることができる。	○自分の心と体の変化をとらえ、心身の健康を維持することができる。	○卒業後の生活を見据え、自ら心と身体の健康が保てるよう、望ましい生活を考え、実行することができる。
	基本的生活習慣の確立	○生活リズムを整え、基本的な食生活や規則正しい生活がわかる。	○自立した生活を意識し、望ましい生活習慣を身につけることができる。	
	職業生活に必要な習慣形成	○将来の職業生活に向けた基本的な習慣を身につけることができる。	○職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成することができる。	継続
自己理解	自己有用感、振り返り	○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 ○活動場面での振り返りをもとに次の活動に生かすことができる。	継続	継続
	長所・課題の理解	○自分の長所や課題に気付くことができる。	○客観的に自分の長所や課題を評価することができる。	○自分の長所や課題を踏まえて、自分の気持ちや考えをしっかりと持つことができる。
自己内省	物事に対する意欲	○時間いっぱい集中する意識を持ち、目標を達成しようと学習に取り組むことができる。 ○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。	○目標を達成するために、集中して学習に取り組むことができる。	○課題解決に向け、自ら物事に取り組むことができる。
	課題を解決しようとする心	○自己決定・自己反省の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢を持つことができる。	○自己決定・自己反省の過程を繰り返し、課題を解決しようとする習慣を身につけることができる。	継続
知識・技術	社会の仕組みなどの知識・技術	○集団生活を通して、社会のルール、マナー、礼儀などを意識して、行動に生かすことができる。	○社会のルール、マナー、礼儀などを、状況に応じて使うことができる。	継続
	社会制度やサービスに関する理解と実際生活での利用	○社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識を理解することができる。	○社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを理解することができる。	継続
	読み書き計算などの知識・技術	○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身につけ、日常生活に生かすことができる。	継続	継続
	消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費	○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。 ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や、労働の対価としての給与の意味を知ることができる。	○収入と支出のバランスを考え、模擬通貨等を使って、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることができる。 継続	○卒業後の収入と支出のバランスを考え、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることが大切であると分かり、実行する意欲を持つことができる。 継続
職業	他者評価の受容	○他者から受けた評価に、耳を傾け、理解することができる。	○他者の考えや個性を尊重し、自分との差異を認めながらも受容することができる。	○他者の気持ちや考えを理解・尊重し、自分のあり方・生き方に生かすことができる。
		○与えられた仕事の意味を理解し、集中して取り組むことができる。	○手早さ、正確さ、丁寧さを意識しながら、与えられた仕事に取り組むことができる。	継続
		○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。	継続	
	職業理解	○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに関心を持つことができる。 ○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。	継続 ○自分の能力や適性を踏まえて、将来の職業について具体的に考えることができる。	継続 ○職業生活の中にやりがいや生きがいを見いだし、前向きに自己の未来を設計するなど、社会の一員である意識を持つことができる。
		○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。	○社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行することができる。	継続
コミュニケーション	自分から相手に発信	○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶・返事・報告ができる。 ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。	継続	○その場に応じた挨拶・返事・報告や相手の人権を尊重した発言をすることができる。
	状況に応じた言葉遣いや振る舞い	○相手の立場を考えて話したり行動したりすることができる。 ○場や状況に応じた適切な言葉遣い、服装、身だしなみを心がけることができる。 ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。	継続	継続
	必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力	○必要な支援を他者に求めることができる。	○必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話せたりする関係を築き、自分の思いや意見を適切に伝えることができる。	継続
	相手を受け入れ、自らそこに参加する	○相手の考え・気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。	○相手の立場や考え方を理解して受け入れ、かかわることができる。	○自分や他者のよい点を認め、思いやりを持って、よりよい人間関係を作り上げることができる。
応用力	TPOに応じた意思決定	○TPOに応じて何ができるか、何をすべきか考え、判断し選択することができる。	○自己の個性や興味・関心に基づいて、TPOに応じたよりよい選択をすることができる。	○卒業後の家庭生活・社会生活・職業生活において、自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うことができる。
	将来設計	○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。	○学校・寄宿舎生活、家庭生活において、計画を立て、物事に主体的に取り組むことができる。	○社会生活・職業生活等に必要な習慣を確立するとともに、余暇の活用等を図り、心豊かな理想とする将来の生活を前向きに設計することができる。
	やりがい・生きがい	○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。	○働くことにやりがいを感じる可以做到。	継続
	情報活用	○学校・寄宿舎・地域社会の中には様々な活動があることを、体験を通じて理解できる。 ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。	○社会の出来事に興味をもち、働く人や仕事について調べることで、様々な情報を収集し、自ら活用することができる。	○希望する進路の実現に向け、卒業後の生活に必要な情報収集・取捨選択し、自ら判断して活用することができる。
	人間関係	○集団活動に参加し、他者と協力することができる。	○集団において自分が果たす役割を理解し、周りと協力することができる。	○集団の一員として自ら役割を理解し、協力していくとともに、その役割を遂行していくことができる。
		○リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームとして協力・共同して活動に取り組むことができる。	継続	継続